

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	地域保健医療論			担当教員	朝日山 一男		
授業の方法	講義、演習			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	高齢社会における東洋療法のニーズを知るとともに、高齢者の特性を踏まえた診療ができるよう、必要な知識、技能ならびに態度を身に付ける。地域医療保健に貢献することのできる施術者になるため、他の医療専門職との連携の下、地域貢献をいかに行うか鍼灸マッサージ師の役割を考えていきたい。						
授業の到達目標	Ⅰ．プロフェッショナリズム ・自己の役割を誠実に果たす姿勢 Ⅱ．医学的知識 ・東洋療法における主要疾患の症候・治療の概要 ・リハビリテーション 8. リスク管理 Ⅲ．基本的臨床能力 ・主要症候に対する東洋療法の適否の判断、治療方針・計画を立てる能力 Ⅴ．社会貢献 ・地域ケアにおけるあはき師の役割 ・地域包括支援センターとの連携と介護予防への理解 ・防災・減災・災害支援・受援への理解						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	東洋療法の地域での活用方法(KJ法)		1	地域保健医療		
	2	東洋療法の活用方法		2	プライマリー・ケアと東洋療法・リスク管理と評価		
	3	メタボ・ロコモ・フレイルなどの概念		3	介護予防事業		
	4	高齢者の心身機能と病気の特徴1		4	介護予防事業		
	5	高齢者の心身機能と病気の特徴2		5	災害支援		
	6	高齢者の神経系愁訴1脳血管障害		6	災害支援		
	7	高齢者の神経系愁訴2認知症		7	運動療法(関節可動域訓練)中間試験		
	8	まとめと中間試験		8	運動療法(関節可動域訓練)実習		
	9	高齢者の腰痛、膝痛		9	運動療法(筋力増強訓練)		
	10	高齢者の腰痛、膝痛(実習)		10	運動療法(筋力増強訓練)実習		
	11	高齢者の免疫機能と東洋療法		11	体位変換移乗		
	12	高齢者の高血圧と東洋療法		12	体位変換移乗		
	13	高齢者の泌尿器系愁訴への施術		13	車いすの扱い方		
	14	高齢者のその他の疾患への対応		14	障害者への対応		
	15	まとめと期末試験		15	まとめ期末試験		
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	前期はレポート、後期は実技試験で行う。			実務経験	所属学会：日本鍼灸学会、日本体力医学会、日本災害医学会、日本アスレティックトレーニング学会、スポーツ、介護予防、災害支援、全日本鍼灸マッサージ師会所属、		
履修上の注意	関節可動域、MMTについて練習をしてください。			授業時間外の学習	高齢者に関わる資料に目を通して頂くこと。 災害でのボランティア活動に関心を持ってください。		
使用教材	プリント・パワーポイント・松本勅編著「高齢鍼灸学」医歯薬出版株式会社、「鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法」医道の日本社			連絡先	質問や相談があるときは直接訪ねてください。(水曜日のみ)		